

田子町県境不法投棄原状回復調査協議会
第6回ワーキンググループ合同会議 議事要旨

- 日時及び場所：平成20年6月4日（水）19：00～20：50 役場第二会議室
- 出席者：中村忠充、澤口博二、坂上寛、畠山嘉明、蹴揚清見、砂子田康雄、月館勝男、宮村純吉、山市進、畠山勉、上平喜四郎 計11名（敬称略、順不同）
- 配布資料：1 県境不法投棄現場の跡地利用（環境再生）に関する意向調査のお願い（素案）
2 青森・岩手県境不法投棄事件の調査に関するご協力について（事前送付）
3 青森・岩手県境不法投棄現場の環境再生についての県民意向調査（事前送付）
4 5月16日付新聞記事写し（事前送付）
5 不法投棄現場の環境再生について（田子の声100人委員会討議資料）

■ 討議内容と決定事項

1. 現場の環境再生について町民意向アンケート調査の実施内容について

- 調査票の配布・回収・集計の方法とスケジュールについて確認
 - ・6月13日（金）行政連絡事務担当者を通じて全戸配布→7月中旬までに結果集計
 - ・調査票は封筒に入れた状態で各戸から回収する。
- 調査票の内容について
 - ・この調査票の集計結果の取り扱いについて、多数を占めた案を単純に町案とするのか。回答項目は、あくまでも実現可能性を考慮した上で設定すべきではないか。
→この調査の集計結果を、直ちに町の集約意見とはせず、あくまでも町として意見を集約する際の参考とするために行う。よって、回答項目は素案のとおりとし、結果を集計した後、環境再生案に関する協議段階において、実現可能範囲の設定、具体的事例の検討へと作業を進めたい。
 - ・調査項目に回答者の年齢を確認する項目を入れた方がよいのではないか。
→各世帯の総意として回答いただくこととし、年齢確認項目は入れない。（素案のとおり）
 - ・それぞれの跡地利用案に対するイメージ調査（問2）について
→各環境再生案に要する費用の記述は一文でも入れておくことで決定。（素案のとおり）
- 環境再生への取り組み方について確認
 - ・田子の声100人委員会討議資料の説明（中村忠充氏）
 - ・現場は一つであり、青森・岩手両県一体で取り組むべきという考え方が、町の考え方の大前提。

2. 6月6日に予定されている日弁連と住民の意見交換会について

- 現場の環境再生へ向けた取り組み方針として、二戸市住民と連携しながら、地元住民同士の協力の下で取り組むことを示したい。

3. 環境再生に関する勉強会・シンポジウムなどの開催について

- 開催することで決定。
- 講師、内容、開催時期について
 - ・専門家（大学教授等）や、青森県原状回復協議会委員を講師としてお願いする案。
 - ・開催にあたっては、町内の各団体のみならず、二戸市民等にも参加を呼びかけたい。
 - ・町の意見集約期限である8月に拘る必要はない。
→今後、事務局と各ワーキンググループリーダーとで相談し、内容を詰める。

4. その他

- 町議会の取り組みについて
 - ・6月12日（木）不法投棄現場及び三戸ウィズウェイストパークの視察を予定
- 全戸配布されている「現地事務所だより」（青森県発行）が白黒印刷で見づらい。全戸配布するからには見やすく、できればカラー印刷で配布していただきたい。
- 6月26日（木）18：00～20：00上郷公民館にて、青森県主催の住民説明会を開催予定。

■ 次回開催予定及び日程

- 次回の合同WG会議開催予定：7月中旬（夜開催）
- 次回検討課題：町民対象の意向調査集計結果について